

【OIE 情報】ベラルーシにおけるアフリカ豚コレラの発生について

平成 25 年 6 月 24 日
動物衛生課

ベラルーシにおけるアフリカ豚コレラの発生について、OIEへ報告（緊急報告）がありましたのでお知らせいたします。

ベラルーシは東ヨーロッパに位置し、東にロシア、南にウクライナ、西にポーランド、北西にリトアニア、ラトビアと国境を接しています。我が国は生きた偶蹄類及び偶蹄類の肉等についてベラルーシと家畜衛生条件は結んでいませんが、ベラルーシ近隣国のうち、ポーランドとの間で生鮮豚肉等について家畜衛生条件を締結しています。

【出典】

OIEウェブサイト：2013年6月21日付け

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=13663

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1件（Immediate notification）
- ・発生日：2013年6月19日
- ・確認日：2013年6月21日
- ・OIEへの報告日：2013年6月21日
- ・臨床症状あり
- ・ベラルーシでの初発生

【発生状況】

- ・発生場所：ベラルーシ共和国フロドナ州Ivye, Lelyukinskiy, Chapun村
（注：ポーランド国境から約150km）

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
豚	16	1	1	15	0

【疫学情報】

- ・感染源：飼料

【対応】

- ・感染源となる野生動物のコントロール
- ・淘汰
- ・隔離
- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・施設等の消毒実施
- ・ワクチン接種なし
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

PCR：陽性（確認日：2013年6月21日、国立研究所）

(参考1：アフリカ豚コレラとは)

アフリカ豚コレラウイルス(二本鎖DNAをゲノムに持つアスファウイルス科アスファウイルス属)感染による豚の熱性伝染病。臨床症状および病理所見は豚コレラと類似。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、食欲不振、粘血便(ねんけつべん)を呈し、100%死亡する。

感染豚や実験感染豚にはこのウイルスに対する中和抗体が産生されないため、本病に対する有効なワクチンはない。スペインやポルトガルなど大規模な殺処分等による防圧で本病を撲滅してきた。有効な治療法は存在しない。

我が国では、法定伝染病に指定。

国際連合食糧農業機関(FAO)などの国際機関が「国境を越えてまん延し、発生国の経済、貿易及び食料の安全保障に関わる重要性を持ち、その防疫には多国間の協力が必要となる疾病」と定義する「越境性動物疾病」の代表例である。

本病は、アフリカ地域での常在的に発生が見られるが、近年、ロシアの欧州地域での続発が報告されている。

(参考2：ベラルーシにおける発生地図)



本発生はポーランドとの
国境から約150kmの地点。